

「42 歳男性。心窩部痛を主訴に近医を受診。腹部超音波検査で胆嚢腫大を認め当院内科を紹介受診。CT にて胆嚢と総胆管に結石を認め当科紹介」カルテ上で日常的によく見る文章ですが、本誌に投稿されてくる症例報告論文にもしばしば同様の文体が用いられています。本来、医療記録（カルテ）はきちっとした日本語で記述されるべきですが、医師の過剰労働の問題も相まって、ある程度端折った簡易的な文体が容認されているのが現状だと思います。しかし、そのような簡易的な文体が医学界の業界用語・業界言葉として医学論文でも通用するということは決してありませんので、本誌に論文を投稿して頂く際には、正しい日本語を使って書いた原稿をお送り頂きたいというのが、私たち編集委員の切なる思いです。内容的には優れた論文でも、日本語の文体に問題がある場合、そのまま採用するわけにはいきません。編集委員は日本語の文体や誤字脱字などの細かなところまでチェックし、訂正の必要な箇所を指摘します。

本来、こういった学術面以外の問題点は論文を投稿する前に教室や施設の指導者によって適切な指導が行われるべきものです。私の施設では、若手医師が診療情報提供書を作成したら、原則として部長が内容を確認してサインまたは押印します。その際に、内容そのものや誤字脱字のチェックだけでなく、文体や助詞の使い方や「てにをは」をチェックして文章の正しい書き方を指導します。余裕がある時は、手術記録の文章も同様に指導します。

文章の書き方を日常的に修練しておくことで、正しい文体での和文論文がスムーズに書けるようになると思います。また、特定の職業集団のみで使用される業界用語・業界言葉は、使っているとその業界の独自性や特別性を醸し出し、自分がそこにいることを実感させてくれるので心地よく感じることがあります。しかし、言語というのは社会基盤の一つですから、そういった心地よさや簡易性に流されずに、次の世代の人々に大切に受け継ぐことも必要なのではないかと思う今日この頃です。

(本田五郎)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第 24 巻 第 4 号) 2019 年 7 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1 部) 定価：本体 2,800 円＋税

2019 年 年間購読料：16,380 円＋税 *学会員は学会ホームページから閲覧できます。

編集・発行：日本内視鏡外科学会（代表：渡邊昌彦）

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses @ convention.co.jp (担当：池田，小倉)

<http://www.jses.or.jp>

発 売：(株)医学書院（代表：金原 俊）（本誌担当：水野，安部）

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses @ igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

電子出版コード 260F2600024004000000

- ・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は日本内視鏡外科学会が保有します。
- ・本誌を無断で複製する行為は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・JCOPY (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株) 出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

●症例報告

体腔内吻合を用いた完全腹腔鏡下手術が有用であった虫垂粘液嚢胞腺癌の 1 例 ……佐藤和磨・他 竹田綜合病院外科
 腹腔鏡下修復術を施行した upside down stomach を伴う食道裂

孔ヘルニアの 1 例 ……柴原 有・他 東京新宿メディカルセンター外科
 腹腔鏡下で治療しえた小腸型 Chilaiditi 症候群の 1 例 ……阿部紘丈・他 市立旭川病院外科
 腹腔鏡下胃全摘 Roux-en-Y 再建術後に Petersen's defect の supracolic

component をヘルニア門とし内ヘルニアをきたした 1 例 ……龍見謙太郎・他 彦根市立病院消化器外科
 胸腔鏡下憩室切除術を施行した横隔膜上食道憩室の 1 例 ……北條雄大・他 兵庫県立尼崎総合医療センター消化器外科
 腹腔鏡下に摘出した特発性巨大 chronic expanding hematoma の

1 切除例 ……太田英夫・他 兵庫県立西宮病院消化器外科
 腹腔鏡下下行結腸癌手術後に発症した吻合部肛門側壊死型虚血性

腸炎の 1 例 ……田波秀朗・他 東京都保健医療公社大久保病院外科
 腹腔鏡下に切除した上行結腸脂肪肉腫の 1 例 ……川原健治・他 千葉県がんセンター食道・胃腸外科
 経過観察中に壁外性発育、直腸穿通をきたした直腸平滑筋腫に対する腹腔鏡補

助下切除：1 例報告 ……黨 和夫・他 嬉野医療センター外科

●手術手技

卵管間質部妊娠に対し腹腔鏡下に子宮頸部の絞扼駆血を行い卵管角切除術
 を施行した 1 例 ……佐藤 修・他 苫小牧市立病院産婦人科

他、数編の掲載を予定。但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。